

第2弾 春のPCR検査集中実施等について（案）

1 趣旨

本県では、外出機会の削減や営業時間の短縮要請など県民の行動を制限する「集中対策」を昨年12月12日から2月21日まで（72日間）実施し、これまでにない感染の急拡大に対応しました。その後、PCR検査などモニタリングを強化して感染が再拡大しないようその兆候を早期に把握するべく取り組んできたところです。

この間、多くの県民及び事業者の積極的な協力によって感染状況は低く抑えられていましたが、3月下旬からは感染者の新規報告者数（直近1週間の10万人当たり）が漸増傾向となり、拡大の兆候がみられます。

全国の状況を見ると、2回目の緊急事態宣言が解除された後、懸念されていた感染の再拡大に見舞われており、4月20日からは10都府県に対して「まん延防止等重点措置」が実施されていますが、感染力がより強く、重症化リスクもより高いと考えられる変異株の影響もあり、全国的な感染の再拡大に歯止めがかかっていません。

本県の現時点における感染者の新規報告者数は、警戒基準値「4.0人」を超過しており、今後急拡大する可能性があるため、4月19日から感染状況をステージⅡへ引き上げたところです。地域別では、広島市と福山市で全体の8割強を占めています。（令和3年4月14日から20日の間で全県：6.8人、広島市：10.1人、福山市：7.2人）

発生事例の分析からは、県外との往来などに由来するものに続き、飲食の場での感染（特に広島市中区の繁華街と関連のあるケース）が増加傾向にあり、昨年12月の感染拡大初期と同様の現象が起こっています。また、職場の人間関係における飲食や喫煙所といったマスクを外すシーンでの感染も増加傾向にあります。既に関西地域では変異株が流行の主流になっており、十分な警戒が必要です。

専門家からは、改めて県民に対する感染防止対策の徹底（マスクを外す場面、症状があるときの受診（検査）と療養など）、学校等における感染防止対策の確認、調査と分析等を踏まえたとよりターゲットを絞ったPCR検査の実施の検討などの意見がなされています。

こうした状況を踏まえ、感染の急拡大を抑え込むため、人の移動が増えて更に感染リスクの高まる大型連休前から、現在取り組んでいる「春のPCR検査集中実施」を更に拡充して行う。

2 取組の概要

別紙のとおり

(別紙)

第2弾 春のPCR検査集中実施等について

R3.4.22 新型コロナウイルス感染症対策担当

1 目的

広島市、福山市を中心に新規陽性者を早期に発見することで、県内全体に感染拡大が波及することを防ぐため、現状で感染経路の多くを占める飲食、職場、県外往来に着目した「第2弾 春のPCR検査集中実施」を行う。

2 集中実施の概要

<対策その1> 飲食の場面における感染拡大防止

○目論見 これまで、飲食店の従業員、利用者を対象としたPCR検査体制を整え、呼びかけていたが、思うような活用実績があがっていない。

今回は、アウトリーチを行うこととし、飲食店を個別訪問し、検査キットを配布、飲食店単位での受検を促す。

○実施期間 4月23日(金)～5月9日(日) 17日間

○対象者 ① 広島市中心部の繁華街(エリアは要調整)にある飲食店の従業員
② ①の飲食店を利用した方
③ ①、②の者と接触した方など、気になる方
※対象は無症状の者。有症者はかかりつけ医等を受診すること。

○検査方法 だ液によるPCR検査(検査料:無料)

○申し込み 予約なし (コールセンター 082-207-2322)

○実施方法 委託事業者がスタッフを確保し、2人一組1日25組の体制により、検査キットを配布する。(期間は5/8(土)まで)

飲食店配布後は、同エリア内で、集中実施をPRするとともに、希望に応じて個人に検査キットを配布する。

対象者	受検方法	配布時間帯
飲食店従業員	i 検査キットを訪問して配布	<キット配布> 4/23～5/8 16 日間 15 時～18 時 ※飲食店開店前 ※流川・薬研堀地区およそ 2,500 店舗
	ii 飲食店単位でだ液を採取	
	iii PCRセンター等に問診票と検体を提出	
飲食店利用者	i エリア内の路上で配布	<チラシ配布> 4/23～5/8 16 日間 18 時～20 時 ※飲食店開店後
	ii 自宅でだ液を採取	
	iii PCRセンター等に問診票と検体を提出	

○流川地区PCRセンター(新天地公園集会所)の開所時間延長

(現行) 11時～15時

(変更後) 11時～21時 ※期間は4月23日(金)～5月9日(日) 17日間

※なお、4/23(金)～26(月)は集会所を投票所として使うため、新天地公園内にテントを設営予定

<対策その2> 事業所を対象とした受検機会の拡充

- 目論見 春のPCR検査集中実施において、事業所単位での受検を働きかけたが、見込み(1日30事業所600人)を大きく下回っている。その要因としては、事業所自ら会場にキットを受取りに行き、また、検体を提出するなど手間がかかるためと考えられる。
今回は、県内5か所のPCRセンターや広島市内、福山市内の参加薬局でのPCRモニタリング検査の活用を引き続き呼びかけるとともに、2月に実施した集中実施のトライアル事業と同様に、事業所に検査キットを届け、後日検体を回収する仕組みを導入する。
- 実施期間 予約受付 4/26(月)～
検査キット配送 4/30(金)～
検体回収 5/6(木)～14(金) 平日のみの7日間
- 対象者 事業所は、広島市中区の所在 ★1事業所当たり受検者数10人以上とする。
対象者は、①出張等で県外往来のある者、②業務上、県外の者と接する者
※対象は無症状の者。有症者はかかりつけ医等を受診すること。
- 検査方法 だ液によるPCR検査(検査料:無料)
- 申し込み 予約はHPから (コールセンター 082-207-2322)
- 実施方法 委託事業者が予約受付から、検査キットの配送、検体の回収を担う。

<対策その3> 県外往来者による感染拡大防止

- 目論見 県内5か所のPCRセンターや広島市内、福山市内の参加薬局でのPCRモニタリング検査に加えて、春のPCR検査集中実施では、県外からの流入者が多い広島市を中心に受検機会の拡充を行っている。現在、福山市においても県外往来を起因とする陽性者が増加しているため、交通結節点である福山駅にアクセスポイントを増設して、全体の実施期間も延長する。(大学は4/25で終了する。)
- 実施期間 (現行) 4月12日(月)～4月25日(日) 14日間
(延長後) 5月16日(日)まで 21日間延長
【福山駅】 4月23日(金)～5月16日(日) 24日間
- 対象者 ① 広島市内、福山市内の居住者・就業者で県外往来のある方
② ①の者と接触した方など、気になる方
※対象は無症状の者。有症者はかかりつけ医等を受診すること。
- 検査方法 だ液によるPCR検査(検査料:無料)
- 申し込み 予約なし (コールセンター 082-207-2322)
- 実施方法

会場	対象者の属性	開設時間	受検の流れ
I 広島駅北口ペDESTリアンデッキ	個人、事業所	毎日 7:00～19:00	【個人】 i 会場でキットを受取る ii 朝、自宅で採取 iii 基本、受取会場に問診票・検体提出 iv 陽性時は個別に通知
II 県庁 (南西側通路)			
III 福山駅南口 新		毎日 11:00～21:00	【事業所】 i 会場でキットをまとめて受取る ii 職場で希望する者に配布 iii 朝、だ液採取、職場で検体を回収 iv 職場で集めた問診票・検体を基本、受取会場に提出 v 陽性時は個別に通知
IV 流川地区 PCRセンター			
V 観音地区 PCRセンター			
VI 福山地区 PCRセンター 新			
		毎日 11:00～15:00	

◆周知方法 飛行機利用者への周知のため、広島駅リムジン降車場でチラシを配布する。

3 受検者数の見込み

会 場	個人	事業所	1日計	期間計
<対策その1> 飲食店 (従業員, 利用者)	10人×2h ×25組 ×15% =75人	3店舗×3h×25組 ×25%×3人 =168人	243人	16日間 3,888人 (864事業所 2,688人)
<対策その2> 事業所	—	40事業所×25人 =1,000人	1,000人	7日間 7,000人 (280事業所 7,000人)
<対策その3> Ⅰ 広島駅北口ペデス トリアンデッキ(全日) Ⅱ 県 庁(全日) Ⅲ 福山駅(全日)	400人	10事業所×20人 =200人	600人	延長21日間 12,600人 (210事業所 4,200人)
Ⅳ 流川地区PCRセン ター(全日) Ⅴ 観音地区PCRセン ター(全日) Ⅵ 福山地区PCRセン ター(全日)	100人	10事業所×20人 =200人	300人	延長21日間 6,300人 (210事業所 4,200人)
			2,143人	29,788人 (1,564事業所 18,088人)

4 成人式会場における呼びかけ

大型連休中に成人式が行われる市町があるため、各市町長から新成人に次の事項を呼びかけることを要請する。

(当日までに呼びかける事項)

- ・体調不良の場合は参加を取り止めて医療機関を受診すること
- ・参加前にPCR検査を受けること。できれば前日にPCR検査を受けること
- ・特に県外から帰省される方(緊急事態措置等が実施されている地域から帰省される方)は受検すること

(当日呼びかける事項)

- ・家族やお世話になっている方々を守るためにも、マスク着用、手洗い・手指消毒など基本的な感染防止対策を徹底すること
- ・式典の前後も含め、会場における飲食及びマスクを外しての会話は控えること
- ・会食等については、今回は延期するなど慎重に判断すること
- ・緊急事態措置等が実施されている地域との往来は、最大限、自粛すること

5 積極ガード取組店舗の見回り

積極ガード取組店舗(9,214店:3/31)の感染予防対策全項目をチェックし、必要に応じて改善を要請する取り組みを継続して実施する。

2年度実績 1,349店舗

3年度計画 400店舗×6月=2,400店舗(4~9月)